

朝六小だより

朝霞市立朝霞第六小学校

児童数 1096名

令和7年5月1日号



子供の良さを見つけられることの喜び

校長 こじま たかし 小島 孝之

校長として着任して1か月。この間たくさんの子供たちの良さを見つけられています。

先月号で、私は子供たちに「思いやりのある子に育ってほしい」と書きました。保護者・地域の皆様はどのようにお考えでしょうか。

人それぞれ価値観は異なりますし、大切なことの優先順位は様々だと思いますが、保護者・地域の皆様と子供たちをよりよく成長させていくという共通の願いをもって私自身が子供と関わりを深めていきたいと思っています。



〈昇降口のパンジー・春満開です〉

本校教職員のすばらしさ・・・それは子供への愛情

手前味噌を承知で書きます・・・。私は子供一人ひとりの良さや可能性を見つけ、さらに輝かせることを大切にしていますが、本校の教職員も、子供一人ひとりの良さを見つけ、それを支援・指導につなげています。本校の教職員の素晴らしいところは、子供にかける愛情です。子供に確かな学力をつけてほしいという思いで、教材研究の時間を惜しまずに、どうすればよい授業ができるのか考え、工夫をしています。では、よい授業とは何か。それは、4つの視点があると思っています。

- ① 様々な事象を通して、そこから子供が疑問を持ち、子供自身が問いを立てて、自分なりの予想や考えを持つ授業
- ② その課題を解決するために、子供が今までの知識を使ったり、試行錯誤したりしながら調べ、ときに友達や周りの人の意見を参考にしながら課題を解決していく授業
- ③ そしてその考えを周りの友達に発表・発信したり、聞きあったりできる授業
- ④ 最後に、その課題に対して、分かったことなどを自分の言葉でまとめ、振り返り、次の授業につなげられる授業

すべての教科で、このような展開になるとは限りません。教材によって展開の仕方が変わることもあります。しかし、基本的な考えとして、教師が知識を子供たちに一方的に伝え、教師が書いた板書をただ書き写す、といった画一的で、つまらない授業は本校では行いません。

本校では、校内研修に、『生活・総合的な学習の時間』を柱にして、子供自らが学びに向かう授業づくりを全学年で実践中です。教員が授業デザイナーとなって、まずは教員自身が楽しんで教材をつくっていくことを大事にしています。今後も進捗状況は tetoru 等でご報告させていただきます。

〈教職員研修の様子・・・救急救命・AED 研修〉



〈1年生交通安全教室の様子〉

